

教科	芸術	科目	美術 I	2単位	年次	1年次
使用教科書	Art and You 創造の世界へ 日本文教出版					
副教材	なし					

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・美術活動を通し、伝統や文化、歴史、地域、社会に触れ、異なる人々と共によりよく生きる力を育んでもらえるよう、主体的に授業に取り組み、芸術の多様性を探求し、その価値を高めていってほしい。

2. 学習の到達目標

・身近な世界に様々な表現があることを知り、美術文化に親しみ、多様な人、文化を尊重し感性を高める。・生涯にわたり美術を愛好する心情を育てると共に、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 創造的な技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 主 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作/活動/発表の様子	制作の様子・ワークシート・アイデア・技法・プロセス・作品・コンセプト	制作のプロセス・作品	課題の理解と展開・自身/他者との意見交換・発言・発表の内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4/5	メッセージのデザイン	図書室内を文字でデコレーション。「展示場所への理解を深め、効果的な表現を探る。また、「パブリック」「デザイン」について考察。	○	○	○	○	a:展示場所が持つ特性/デザインの機能を理解し、客観的な立場でデザインを提案している。b:展示場所の持つ特性を理解し、造形要素を主題と関連させて考え、構想を練る。c:主題に合わせた表現方法を工夫している。d:パブリックアートのよさを理解し、自他の作品について自分の言葉で表現している。	ワークシート・プロセス・発表・活動の様子
6	グラフィティはアートか?	グラフィティはアートか落書きか?についてディベート。グラフィティの歴史を紐解き、国際社会に向けてメッセージを配信するバンクシーのアートに触れ、ステンシルやスプレーアートを体験し、本棚や古着屋など様々なアイテムに作品を展開。	○	○	○	○	a:グラフィティの魅力、公共の場に作品が置かれることの意味について関心をもち、作者の意図や表現の工夫を理解しようとしている。b:描こうとする主題の生成を的確に捉えて構成などを工夫している。c:ステンシルの技法を駆使し、主題にあった表現を工夫し、個性を生かして表現している。d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の意図や心情、表現の工夫などを感じ取り、作品についての理解を深めている。	プロセス・活動の様子・作品
7	具体	地域文化/関西発・世界へ衝撃を与え、今も注目を浴びる「具体」を探求。その歴史・魅力を探り、体感し、独自の「具体」に挑戦	○	○	○	○	a:具体に関心をもち、それらの表現を理解しようとしている。b:美術表現の可能性を探ろうとしている。c:コンセプトにあった表現の工夫している。d:意表をついた表現が持つ意味、今後の想像のあり方などについて考えている。	プロセス・活動の様子・作品
8	五感で描く	"ウィーン・モダン・クリムト・シエラ世紀末への道"に絡めて、ゴッホ/クリムト/シエラが共通して描いたひまわりから、時代背景や描画材、それぞれの人生を紐解き表現を探求。それらを踏まえ、"ひまわり"を感じたままに描く。	○	○	○	○	a:画家のモノの見方を理解し、観察する姿勢や描写力を身につけようとしている。b:画家の作品からイメージを膨らませ、自分なりの工夫を加えている。c:描画材の特質を理解し、基本的な技術が身につけている。d:技法や画家の人物像に触れながら、楽しみながら鑑賞している。	ワークシート・プロセス・活動の様子・作品
9	天まで届け	チームごとに、アイデアを結集。機能性/デザイン性を考慮し、より高く天に舞う凧をどうしたら作れるかを探求。日本(伝統文化)だけでなく世界の凧の歴史や技を紐解いていく。	○	○	○	○	a:凧作りに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。b:意図に応じた表現方法を創意工夫している。c:形や色などの造形要素、また、材料の特性に応じた作成方法や完成の見通しを立てて取り組んでいる。d:出来上がった作品の良さを創造的に味わっている。	

10	Be an artist!	"大阪市立高等学校芸術祭"に参加する作品作り。"発表する空間"で何ができるのか？自分たちだからこそできる表現を探求。来場者をどうもてなするか、安全に対策も踏まえ皆で考察。	○	○	○	○	a:大きな絵画や彫刻の持つ面白さ、公共の場に作品が置かれることの意味について関心を持ち、意図や表現の工夫を理解しようとしている。b:作ろうとしている主題の全体像、どこに設置するかなどの場所、空間を的確に捉え構成などを工夫している。c:想像的な魅力ある表現をするために、今までに培った技法を駆使し、主題にあった表現方法を工夫し、個性を生かした表現をしようとしている。d:他の意見に傾聴し、表現の工夫などを感じ取り、美意識を働かせ想像的に味わっている。	活動の様子・ワークシート・コミュニケーション能力
11	なりきる	有名なアーティストの作品を日用品を使って再現し発表。興味あるアート作品を選び探求。その作品になりきることで、そのアーティストの内面をも探る。関西出身の世界的アーティスト/森村泰昌氏の作品を紹介。	○	○	○	○	a:選んだアーティストの表現効果に関心を持ち、積極的に試そうとしている。b:様々な技法を理解しようとし、芸術家の手法を具現化させる方法について考えている。c:表現に適した効果を理解し、効果的に表している。d:他の作者の表現の工夫やよさ、美しさを感じ取っている。	ワークシート・プロセス・作品
12	舞台作り-感動を創る	音楽科・美術科での協働学習によるオリジナル舞台作品の制作	○	○	○	○	a:題材に関心を持ち、自ら感じたことや思いを他者に伝えるなど、意欲的・主体的に表現に取り組もうとしている。b:舞台作りの特性を生かし、音楽との共通題材の持つイメージから主題を生成し、発想を生かし、工夫し表現している。c:曲の思いを伝えるため、表現技能を高め創造的に表現している。d:演奏者/大道具・小道具・衣装チームの心情や意図と表現の工夫を感じ味わっている。	プロセス・活動の様子・作品
1	場との対話	国際理解を踏まえ、もしあなたに、2025年の大阪万博のメインオブジェ制作の依頼が来たなら何を生み出すか！アイデアスケッチやコンセプト、ディスカッションを通し作品を完成。過去の万博などを振り返りリサーチ。	○	○	○	○	a:主体的に主題を生成し、創意工夫して試作の模型を作ろうとしている。b:試作の模型から、自分の表したい主題を効果的に生かす表現方法を考えている。c:表現したい意図を大切に、主題を追求して、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し表現している。d:色々な作品を鑑賞し、良さや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自他の見解について理解している。	ワークシート・プロセス・コンセプト・活動の様子
2	リサイクル品で卒業式をプロデュース	"水都らしさ"とは！？卒業生(中3)が身に着ける、コサージュ的なもの(身に着けるアート)・高3の卒業式の看板を作成。誰か(相手)のことを思いながら作ることの大切さを体験するだけでなく、イベントを企画・運営することの面白さを見通しを持って企画<SDGs>	○	○	○	○	a:制服に付けられるようデザインの機能を考慮し、また、公の場であることを理解した上で、客観的な立場でデザインを提案。b:場に合わせたデザインと機能性を考えている。c:いろんな人に見られること/身に着ける人のことを考え、安全に配慮した上で、魅力的なデザインをしている。d:作った人/身に着ける両方の視点から、デザイン性について理解を深める。	プロセス・活動の様子・作品
3	便器はアート！？	マルセルデュシャンの"泉"はアートか？アーティストが目指していたゴールは？美術史を紐解きながら、なぜデュシャンがこの作品を発表したのか。この作品に対して思うことを言語化し、リサーチしたことと併せてレポートとして提出	○	○	○	○	a:作家の表現に関心を持ち、それらが現代アートにおいて重要な分岐点であることを理解している。d:作家の作品の良さや、表現意図などを感じ取り、特徴を分析するなどして、コンセプトや作品について理解している。	レポート・活動の様子・プロセス・発表

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 創造的な技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点 もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。